



# 第8回 兵庫介護老人保健施設大会



## ・・・おまかせください老健に・・・ ～予防・リハビリ・看取りまで～

施設サービス課 三輪 久美子

5月10日 神戸・ポートピアホテル「偕楽の間」で 第8回 兵庫県介護老人保健施設大会が開催され、テーマは「おまかせください」老健に！ サブタイトルは ～予防、リハビリ、看取りまで～ で参加し、演題発表をしてきました。参加は51施設 180名が出席。発表者は理学療法士が多かったです。

午前中に 看護小規模多機能ホーム **ぶどうの家 真備の代表 津田 由紀子氏**による「**西日本豪雨災害からの学び**」の演題で特別講演がありました。2018年7月 西日本豪雨で岡山・真備地区が被災した時のことを話されました。“晴れの国・災害のないことで 有名な岡山だから大丈夫”と概念から、年2回の避難訓練は施行していたが、全く水害の想定はしていなかった。51名が亡くなり、そのうち43%が2階建ての1階部分で死去。安全と思い 避難行動はとらなかった為、大惨事がおこったことを深く反省。施設で災害を免れた方を、避難指定場所の公民館へ移動させました。処が 一部の避難者は認知症のある方と共同生活する事を嫌がり、入所者を軽視する方もありました。また避難所の食事形態では摂取不可状況で、排泄介助にも苦労したとの話もされました。

いつ・どこで起こるか分からない災害に対して 此れを機に 職員・近隣住民と話あって避難機能付き共同住宅を建築。1階をコミュニティルームとし2階まで避難し易いようにスロープにしたとのことでした。日頃から **BCPを作成し 近隣住民の協力や、他施設との連携したネットワークも**とっておく必要があると言われた言葉が 非常に印象的でした。

午後の演題発表は15題ありました。第一セッション第2席で『**あっぱれシニア職員**』～縁の下のシニア職員によって深まった職員の絆～という演題で発表しました。2025年には38万人の介護人員が不足が問題となっています。離職率を下げ採用率を上げる為には高齢者の活用が必要不可欠です。今回

